

## 文化・芸術に関するアンケート調査（やまと e モニター）まとめ

## ■調査概要

大和市文化芸術振興基本計画（第 2 期）の進捗状況を把握するとともに、今後の文化芸術施策を検討する際の基礎資料とするため、e モニターシステムを利用してアンケートを実施した。

実施期間	平成 29 年 3 月 23 日（木）～ 3 月 29 日（水）
配信件数	1,120 件
回答件数（回答率）	320 件（28.5%）
性 別	女性 115 人／男性 205 人
年 代	10 代：0 人／20 代：2 人／30 代：22 人／40 代：63 人 50 代：86 人／60 代：61 人／70 代：70 人／80 代：16 人
回答者平均年齢	58.8 歳
調査項目	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 回答者と文化芸術とのかかわり <ol style="list-style-type: none"> <li>①文化芸術の鑑賞状況</li> <li>②鑑賞した文化芸術の分野</li> <li>③鑑賞していない理由</li> <li>④文化芸術活動の状況</li> <li>⑤参加した文化芸術の分野</li> <li>⑥参加していない理由</li> <li>⑦市内の文化施設の利用状況</li> </ol> </li> <li>2 大和市の文化芸術について <ol style="list-style-type: none"> <li>①大和市の文化芸術事業の認知度</li> <li>②文化芸術施策で充実させてほしい分野</li> <li>③文化芸術に関する環境への満足度</li> <li>④文化芸術に関する必要な情報</li> <li>⑤今後の文化芸術に関する取り組み</li> </ol> </li> <li>3 自由意見</li> </ol>	

## ■調査結果と解析

### Q1 鑑賞活動の状況

あなたは、過去1年間にコンサートホール・劇場・映画館・美術館・博物館等で、文化芸術の鑑賞をどの程度しましたか。【単一選択】

#### ○年1回以上の文化芸術の鑑賞を行った市民の割合はほぼ横ばい

- ・平成25年度の調査では、「半年に1回程度」の中に年1回と年2回が混在している可能性がみられたため、平成28年度の調査では、新たに「(4)年に1回程度」を設けた。
- ・(1)～(4)の合計を前回の調査結果と比較すると、年に1回以上鑑賞している市民の割合に大きな変化はみられなかった。
- ・項目別にみると、「月に1回以上」が前回と比べ4%減少している一方、「半年に1回程度」と「年に1回程度」の合計は5%増加しており、鑑賞回数の減少の傾向がみられる。
- ・「鑑賞していない」の回答者を性別に分け、その割合を算出したところ、男性の方が高く、また、年代別に分けてみると、前回の調査では、年代が高くなるにつれて鑑賞していない市民の割合が低くなっていた結果が、今回の調査では逆転していることが分かった。

鑑賞活動の状況	H28	H25
(1) 月に1回以上	12.0%	16.0%
(2) 2～3ヶ月に1回程度	25.0%	25.0%
(3) 半年に1回程度	23.0%	33.0%
(4) 年に1回程度	15.0%	—
<b>(1)～(4)合計</b>	<b>75.0%</b>	<b>74.0%</b>
(5) 鑑賞していない	25.0%	25.0%
(6) 無回答	0.0%	1.0%

性別回答者に占める 鑑賞していない回答者 の割合	女性	男性
	16.5%	30.2%

年代別回答者に占める 鑑賞していない回答者 の割合	H28	H25
20～30代	20.8%	35.6%
40～50代	23.5%	26.3%
60代以上	27.9%	19.3%

## Q2 鑑賞活動の分野

Q1で「月に1回以上」「2～3ヶ月に1回程度」「半年に1回程度」「年に1回程度」と回答した方に伺います。あなたは、過去1年間にコンサートホール・劇場・映画館・美術館・博物館等で、どの分野の文化芸術を鑑賞しましたか。【複数選択可】

### ○上位3分野は「音楽」「映画・アニメ」「美術・写真」

- ・過去1年間に1回以上の鑑賞活動をしていると回答した市民に、その分野を聞いたところ、「音楽」、「映画・アニメ」、「美術・写真」が上位を占めた。
- ・この3つの分野が上位となったのは、他の分野と比べて開催の頻度が高いこと、情報が得やすいことなどが影響していると思われる。
- ・女性は、男性と比べさまざまな分野を多く鑑賞している傾向がみてとれる。男性は、「落語・漫才などの話芸」のみ女性よりも高い数値を示しているのが特徴的である。

鑑賞活動の分野	回答	女性	男性
(1) 音楽	54.0%	57.4%	53.2%
(2) 映画・アニメ	49.0%	54.3%	46.1%
(3) 美術・写真	42.0%	46.8%	39.7%
(4) 歴史的な建物や遺跡	25.0%	31.9%	20.6%
(5) 演劇	20.0%	23.4%	17.0%
(6) 落語・漫才などの話芸	12.0%	4.3%	16.3%
(7) 舞踊・ダンス	8.0%	14.9%	3.5%
(8) 歌舞伎等の古典芸能	6.0%	7.4%	5.0%
その他	4.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史博物館</li> <li>・ ぞめき</li> <li>・ 切手文化</li> </ul>	ほか

### Q3 鑑賞しなかった理由

Q1で「鑑賞していない」と回答した方に伺います。それはなぜですか。【複数選択可】

#### ○男性は「関心・興味」、40～50代の女性は「時間的な余裕」がない

- ・Q1で過去1年間に文化芸術の鑑賞をしていない市民に鑑賞しなかった理由を聞いたところ、「関心がある催しがない」が最も多く、次いで「時間的な余裕がない」、「入場料が高い」となった。
- ・性別で比較しても、上位の項目は同じであったが、男性はこれに加え、「興味がない」という回答も上位となっている。
- ・女性で最も高かった理由は、「時間的な余裕がない」となっており、特に、仕事や家族のことで忙しい40～50代からの回答が目立つ。（男性も同様の傾向がみられる。）

鑑賞しなかった理由	回答	女性	男性
(1) 関心がある催しがない	41.0%	36.8%	41.9%
(2) 時間的な余裕がない	39.0%	63.2%	30.6%
(3) 入場料が高い	31.0%	47.4%	25.8%
(4) 情報が少ない	25.0%	26.3%	24.2%
(5) 興味がない	21.0%	5.3%	25.8%
(6) 交通が不便である	10.0%	10.5%	9.7%
(7) 利用したい文化施設がない	10.0%	10.5%	9.7%
その他	9.0%	・身体的に ・体調の関係（病気など） ・親の介護、妊娠 ほか	

女性の年代別回答者に占める 時間的な余裕がない回答者 の割合	20～30代	40～50代	60代～
	8.3%	83.4%	8.3%

#### Q4 市民の文化芸術活動の状況

あなたは、過去1年間に文化芸術に関する活動をどの程度しましたか。【単一選択】

##### ○過去1年間で活動を行った市民の割合は34%で微減

- ・ Q1と同様、平成25年度の調査では、「半年に1回程度」の中に年1回と年2回が混在している可能性がみられたため、平成28年度の調査では、新たに「(4)年に1回程度」を設けた。
- ・ (1)～(4)の合計を前回の調査結果と比較すると、年に1回以上活動している市民の割合に大きな変化はみられなかった。
- ・ 項目別にみると、「月に1回以上」が前回と比べ6%減少している一方、「半年に1回程度」と「年に1回程度」の合計は5%増加しており、活動の回数が減少している傾向がみられる。
- ・ 「活動していない」の回答者を性別に分け、その割合を算出したところ、男性の方が活動していない割合が高いことが分かった。
- ・ 年代別の傾向については、20～30代が最も高くなっているが、前回の調査と比べると、すべての年代で活動していない割合が増えていることから、今後は、活動をはじめめるきっかけとなるような仕掛けの充実が必要と考える。

市民の文化芸術活動の状況	H28	H25
(1) 月に1回以上	14.0%	20.0%
(2) 2～3ヶ月に1回程度	7.0%	7.0%
(3) 半年に1回程度	7.0%	8.0%
(4) 年に1回程度	6.0%	—
<b>(1)～(4)合計</b>	<b>34.0%</b>	<b>35.0%</b>
(5) 活動していない	65.0%	65.0%
(6) 無回答	1.0%	0.0%

性別回答者に占める活動していない回答者の割合	女性	男性
	58.4%	70.1%

年代別回答者に占める活動していない回答者の割合	H28	H25
20～30代	78.2%	71.1%
40～50代	66.6%	65.3%
60代以上	63.1%	59.4%

### Q5 文化芸術活動の分野

Q4で「月に1回以上」「2～3ヶ月に1回程度」「半年に1回程度」「年に1回程度」と回答した方に伺います。あなたは、過去1年間に、どの分野の文化芸術に関する活動（鑑賞を除きます）をしましたか。【複数選択可】

#### ○文化芸術活動の過半数が「音楽」活動

- ・Q4で過去1年間に1回以上の文化芸術活動をしていると回答した市民に、その分野を聞いたところ、「音楽」がQ2の鑑賞活動と同様に最も高く、以下「美術・写真」、「舞踊・ダンス」の順となった。
- ・回答者を性別に分け、その割合を算出してみると、男性は、「音楽」に次いで「美術・写真」、女性は「舞踊・ダンス」の活動を多く行っていることが分かる。

文化芸術活動の分野	回答	女性	男性
(1) 音楽	53.0%	45.1%	54.1%
(2) 美術・写真	30.0%	17.6%	37.7%
(3) 舞踊・ダンス	19.0%	29.4%	8.2%
(4) 伝統芸能	14.0%	9.8%	14.8%
(5) 文学	12.0%	7.8%	13.1%
(6) 茶道・華道・書道	9.0%	9.8%	6.6%
(7) 演劇	7.0%	2.0%	9.8%
(8) 映像	6.0%	0.0%	9.8%
その他	12.0%	・地域（コミセン等）の祭り ・和裁、着付け ・陶芸 ほか	

## Q6 活動していない理由

Q4で「活動していない」と回答した方に伺います。それはなぜですか。【複数選択可】

### ○40～50代の女性は「時間的な余裕」、60代以上の男性は「興味」がない

- ・Q4で過去1年間に文化芸術の活動をしていない市民に活動していない理由を聞いたところ、「時間的な余裕がない」が最も高い結果となった。
- ・性別で比較すると、女性は「時間的な余裕がない」が最も多くなっており、Q3の鑑賞しなかった理由と同様、40～50代が大部分を占めている。
- ・男性は「興味がない」が最も多く、特に60代以上の割合が高い。

活動していない理由	回答	女性	男性
(1) 時間的な余裕がない	45.0%	67.7%	35.0%
(2) 興味がない	38.0%	27.7%	43.8%
(3) 一緒に活動する仲間がいない	19.0%	18.5%	19.7%
(4) 指導してくれる人がいない	9.0%	7.7%	8.8%
(5) 練習場所、稽古場所が身近にない	5.0%	7.7%	2.9%
その他	12.0%	・健康、体調の不安 ・機会がない ・金銭的余裕がない ほか	

女性の年代別回答者に占める 時間的な余裕がない回答者 の割合	20～30代	40～50代	60代～
	11.4%	75.0%	13.6%

男性の年代別回答者に占める 興味がない回答者 の割合	20～30代	40～50代	60代～
	10.0%	35.0%	55.0%

## Q7 大和市の文化施設の利用状況

あなたは、過去3年間に大和市の施設で、文化芸術活動や鑑賞をしたことはありますか。

【複数選択可】

### ○芸術文化ホールが30%で最多

- ・文化施設の利用状況としては、平成28年11月に開館した「芸術文化ホール」が最も高い結果となった。
- ・一方で、市内の文化施設のどこも「利用したことがない」市民が4割以上おり、Q1の鑑賞活動の状況の結果等を踏まえると、民間の文化施設、市外の文化施設を利用する市民が多くいることが推察される。

大和市の文化施設	回答
(1) 芸術文化ホール（大和市文化創造拠点シリウス内）	30.0%
(2) 学習センター	24.0%
(3) 図書館	18.0%
(4) 保健福祉センターホール	15.0%
(5) つる舞の里歴史資料館	9.0%
(6) 郷土民家園	8.0%
(7) 野外音楽堂（引地台公園）	5.0%
(8) 下鶴間ふるさと館	4.0%
(9) 慈緑庵（多胡記念公園）	4.0%
(10) 利用したことがない	41.0%
(0) その他	3.0% ・イオンホール ・グリーンアップセンター ・自立支援センター ・ぶらっと中央林間 ほか

## Q8 大和市の文化・芸術事業の認知状況

大和市が実施している文化芸術事業のうち知っているものを教えてください。【複数選択可】

### ○認知度はほとんどの事業が上昇

- ・各事業の認知度は最多の「文化祭（書・絵画・写真一般公募展）」を筆頭に、ほとんどが上昇していることが分かった。
- ・その他（一つも知らない含む）も5%減少したものの、認知度そのものは全体的に未だ低い状況にあることから、情報発信のさらなる充実が必要といえる。

大和市の文化・芸術事業	H28	H25
(1) 文化祭（書・絵画・写真一般公募展）	49.0%	32.0%
(2) 世界料理の屋台村	34.0%	32.0%
(3) つる舞の里歴史資料館企画展	31.0%	30.0%
(4) 国際交流フェスティバル	24.0%	20.0%
(5) 市民芸術祭	23.0%	22.0%
(6) さくら文芸祭 （短歌・俳句・川柳一般公募展、朗読ライブ）	21.0%	13.0%
(7) コミュニティ音楽館	20.0%	18.0%
(8) YAMATOダンスフェスティバル	19.0%	35.0%
(9) YAMATO ART100	18.0%	12.0%
(10) YAMATOイラストレーションデザインコンペ	15.0%	12.0%
(11) 子ども伝統文化フェスティバル・伝統文化塾	7.0%	6.0%
(12) アートバスツアー	6.0%	—
(13) 対話による美術鑑賞	4.0%	8.0%
(14) インターネット美術館	3.0%	—
(15) 文化財愛護講座	1.0%	—
(0) その他（一つも知らない含む）	20.0%	25.0%

### Q9 充実させたい文化芸術施策の分野

大和市の文化芸術施策であなたが充実させてほしい分野を教えてください。

【3つまで選択可】

#### ○「音楽」が群を抜いて高いが、「演劇」の需要も高い。

- ・大和市で充実させたい文化芸術施策の分野を聞いたところ、「音楽」が、次いで多い「美術・写真」の倍以上高い結果となった。
- ・一方、Q2「鑑賞活動の分野」、Q5「文化芸術活動の分野」でそれぞれ5番目、7番目だった「演劇」が3番目に高い。これは、演劇の振興によってもたらされる効果等を強く認識していることの表れと思われる。

充実させたい文化芸術施策の分野	回答
(1) 音楽	61.0%
(2) 美術・写真	27.0%
(3) 演劇	24.0%
(4) 伝統芸能	20.0%
(5) 映像	19.0%
(6) 茶道、華道、書道	9.0%
(7) 舞踊・ダンス	9.0%
(8) 文学	8.0%
(0) その他	8.0% ・ 地元に密着したもの ・ 国際交流 ・ 話芸 ・ 手芸 ・ 特になしほか

### Q10 文化芸術活動に関する必要な情報

大和市の文化芸術活動に関する情報は、広報やまよやホームページ等でお知らせしていますが、あなたにとって必要な情報はどのようなものですか。【複数選択可】

○必要なのは「イベント」が「ドコ」で行われているか。

- ・「市内の文化芸術イベントの紹介」が最も高く、次いで「市内文化施設の紹介（場所・利用方法等）」となっており、主に鑑賞、参加するための情報が必要と考えていることが分かる。

文化芸術活動に関する必要な情報	回答
(1) 市内の文化芸術イベントの紹介	73.4%
(2) 市内文化施設の紹介（場所・利用方法等）	44.0%
(3) 文化芸術団体・サークルの紹介	29.7%
(4) 国内で活躍している大和市在住芸術家の紹介	24.6%
(5) 文化助成事業の紹介（国・県・文化財団等）	11.6%
(0) その他	5.1% ・個人利用可能な アートスペース ・県内のイベント紹介 ・特になし ほか

### Q11 文化芸術振興に必要な取り組み

大和市が文化芸術施策を進めるにあたって、今後どのような取り組みが必要と考えますか。

【3つまで選択可】

#### ○鑑賞機会の充実が最多

- ・文化芸術振興に必要な取り組みを聞いたところ、「コンサートや展覧会等の鑑賞機会の充実」、「公演、展覧会、芸術祭などの文化芸術事業の充実」が上位となり、鑑賞、参加する立場での回答が多くみられた。
- ・今回の調査では、「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」が、前回の調査よりも大幅に減少しているが、これは設問の項目が増えたことによる影響と思われる、必要な取り組みとの認識は変わっていないと考える。
- ・平成25年度の調査において、最も高い割合であった「文化施設の充実」については、芸術文化ホールの開館により、大幅に減少する結果となった。

文化芸術振興に必要な取り組み	H28	H25
(1) コン서트や展覧会等の鑑賞機会の充実	49.0%	—
(2) 公演、展覧会、芸術祭などの文化芸術事業の充実	40.0%	47.0%
(3) 子どもが文化芸術に親しむ機会の充実	29.0%	50.0%
(4) 高齢者が文化芸術に親しむ機会の充実	23.0%	—
(5) 美術館、博物館等の文化施設の充実	22.0%	55.0%
(6) 歴史的な建物や文化財の保存・活用	18.0%	34.0%
(7) 地域の芸能や祭りなどの継承・保存	15.0%	40.0%
(8) 文化芸術関連情報の発信の充実	14.0%	—
(9) シンボリックな位置づけのイベントの開催	9.0%	—
(10) 文化芸術活動に対する支援の充実	9.0%	25.0%
(0) その他	4.0%	3.0%

## ※自由意見

寄せられた意見の内容を大別すると次のとおりです。

### ◆やまと芸術文化ホールについて

#### 〈期待する公演・展示〉

##### [主な意見]

- ・有名アーティストによる質の高い（中身の濃い）公演
- ・伝統芸能
- ・テレビの公開番組
- ・市主催の芸術鑑賞
- ・市主催の子どもたちによるステージ発表
- ・無料で見られる美術の展示（常設として）
- ・映画鑑賞（リバイバル作品やアニメ等）

#### 〈施設の改善・期待する点〉

##### [主な意見]

- ・ホール開場前の待機スペースがなく、使い勝手が悪い
- ・障がい者に付き添える座席（メインホール）が必要
- ・広報範囲を広げ、積極的な利用促進を促す
- ・チケットが取りづらい
- ・東側の出入り口をいつでも通れるようにする
- ・開館時間中はいつでもギャラリーが見られるようにする
- ・ギャラリーにキュレーター（学芸員）を常時配置する
- ・利用料が高い

### ◆大和市文化創造拠点シリウス（芸術文化ホール以外）について

##### [主な意見]

- ・適度な大きさの会議室がない
- ・会議室の防音とピアノの設置
- ・図書館に専門書が少なく、司書のレベルが低い
- ・子どもコーナーを7時半まで延長する
- ・利用者のモラルや文化への意識を高める
- ・高齢化社会を考慮した実用的な施設にする

## ◆大和市の文化芸術施策について

### 〈文化芸術の鑑賞、参加機会の充実〉

#### [主な意見]

- ・身近な地域の学習センターでの文化芸術活動の充実
- ・退職者が地域に出ていきやすい環境をつくる
- ・街全体が活気づくような息の長い活動
- ・企画会社などに積極的に働きかけ、様々なイベントを実施
- ・市民の需要・ニーズを掘り起こす
- ・新たな市民の繋がりを作る機会が欲しい
- ・常態的に芸術に触れ親しむ機会・場が必要
- ・映画フェスティバル等の開催

### 〈大和の歴史〉

#### [主な意見]

- ・歴史的な郷土の取り組みが希薄
- ・市の歴史や文化をリーフレット等にまとめ活用する
- ・つる舞の里やふるさと館にボランティアガイドを常駐させる

### 〈子ども施策の充実〉

#### [主な意見]

- ・未就学児とその保護者へのアプローチ
- ・子どもの教育を充実させ、文化発展につなげる
- ・才能ある子どもへの経済的援助
- ・市の未来と文化的発展を望むなら、子どもたちを大事にするべき

### 〈広報・PR〉

#### [主な意見]

- ・文化芸術の情報があまり入ってこない
- ・興味を持てるようなPRを感じられない
- ・「大和」をアピールする活動

### 〈その他〉

#### [主な意見]

- ・観光地にある落書き帳の電子版を公共施設に設置
- ・外国籍の方々との文化、歴史交流ができる機会が欲しい
- ・私設の音楽芸術ホールの積極的活用
- ・開催、練習、相談場所への移手段がない

#### ◆期待する文化施設について

##### [主な意見]

- ・地域の図書施設（学習センター等）の充実
- ・稽古ができる施設が少ない
- ・家族で一日遊ぶことができる参加型の施設
- ・映画館
- ・美術館と博物館
- ・気軽に利用できるホール
- ・地域の小規模な文化芸術団体が利用しやすい施設